

令和 4 年度 墨田区立二葉小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 日

|             |   |
|-------------|---|
| 学 校 目 標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でつくる丈夫な体</li> <li>・自分で取り組む確かな学力</li> <li>・自分で深める温かく強い心</li> <li>・みんなで築く楽しい生活</li> </ul>   |
| 目 指 す 学 校 像 | <p>○人間尊重の精神に徹し、自己を確立しながら、広く国際社会に生きる人間性豊かな実践力のある児童を育成する。</p> <p>○自分のよさや可能性を認識し、他者を価値ある存在として尊重し、協働しながら持続可能な社会の創り手となる児童を育成する。</p> <p>そのために、次の 4 つを柱にして全教職員が一丸となって活力に満ちた学校づくりをする。</p> <p>(1) 教育目標が児童の日々の生活に目に見える姿として表れている学校</p> <p>(2) 心の通い合う温かさがあり、明るく清潔で安全な教育環境をつくり出す学校</p> <p>(3) 教育機能発揮に向けて、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む学校</p> <p>(4) 教育への使命感と責任のもと、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校</p> |
| 目 指 す 子 供 像 | <p>(1) 自分から進んでたくましい体力をつくとともに、安全に生活する態度を育てる。</p> <p>(2) 自分から進んで学習に取り組み、正しく判断し創造的に解決にあたる態度を育てる。</p> <p>(3) 自他を大切にし、思いやりの心を深めながらねばり強くやり遂げる実践的な態度を育てる。</p> <p>(4) 集団の一員としての自覚を深めながら協力して仕事をし、楽しい生活を築く態度を育てる。</p>   |
| 目 指 す 教 師 像 | <p>(1) 教育への使命感と責任をもち、保護者や地域、関係者と連携して児童を育む。</p> <p>(2) 協働と研鑽を重ね、自らの指導力向上に努める。</p>  |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目                         | 評価項目                                   | 自己評価 |   | 学校関係者評価  |         |
|----------------------------|--|------|---|----------|---------|
|                            |  | 達成状況 | 改善策   | 自己評価について | 改善策について |
| 各<br>教<br>科<br>等<br>指<br>導 | 学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。     | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・墨田区学習状況調査では、理科に顕著な伸びが認められた。他教科においても全国平均を上回る結果が得られた。</li> <li>・都の推進校として高学年教科担任制 2 年次の取組を行った。高学年の取組だけでなく低・中学年でも交換授業を実施し、教員の専門性や学習指導力を高めた。</li> <li>・教科担任制等の指導体制を生かし、個別最適な学び及び協働的な学びの充実を図る。</li> </ul> | A        | A       |
|                            | 学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。 | B    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援巡回教員、スクールカウンセラー、学校支援指導員等と教職員が連携し、組織的に指導・支援を進めた。一斉授業での配慮や支援方法、支援の専門性を高めるために研修等を一層充実させる。</li> </ul>   | B        | B       |
|                            | 学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。   | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の学習指導、学習発表会、キャリアパスポートの活用を通して、児童の自己肯定感を高め、成長を捉えさせることに努めた。継続して児童の自尊感情を高めるために、カリキュラムマネジメントを生かした教育活動を展開したり、教育相談体制を充実させたりする。</li> </ul>  | A        | A       |
|                            | 学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。      | A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びに向かう力を発揮する児童の育成」をテーマに全教職員で研究に取り組み、その成果を墨田区研究協力校として 1 月に発表会を行った。研究をとおして明らかになった課題を解決するために、次年度もこの研究を深める。</li> </ul>   | A        | A       |
|                            | 学校関係者評価委員会の意見等                         |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場棟増改築工事そのものを教育活動に活かし、児童の愛校心を育ててほしい。</li> </ul>  |          |         |

様式 4

| 項目             | 評価項目                                       | 自己評価                           |   | 学校関係者評価  |         |
|----------------|--|--------------------------------|---|----------|---------|
|                |  | 達成状況                           | 改善策   | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等          | 学校は、いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行っているか。      | B                              | ・年3回の生活アンケート、いじめ防止に関する授業、人権標語の取組等を実施し、児童の意識を高めることに継続して努めた。いじめ防止に関する授業では、児童、保護者、教員で協議する機会を設けて、取組を深めた。これらの課題予防的生徒指導とともに、日常の生活指導を基盤とする発達支持的生徒指導を充実させ、積極的な常態的・先行的（プロアクティブ）生徒指導を進める。 | B        | B       |
|                | 学校は、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいるか。 | B                              | ・「あいさつチャレンジビンゴ」の活動など、あいさつの習慣化を図るための取組を工夫した。道徳科の重点指導項目を「善悪の判断、自律、自由と責任」、「親切、思いやり」、「規則の尊重」、「生命の尊重」として継続し、心の教育の充実を一層図っていく。   | B        | B       |
|                | 学校は、危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。         | A                              | ・「墨田区立幼稚園、小・中学校感染症予防に対応した教育活動の基本方針」等に基づいて、感染症対策の徹底を継続した。毎月の避難訓練、安全指導、情報モラル教育、環境整備の他に、次年度より工事に伴う近隣施設へ移動して行う体育授業の安全指導にも努めていく。   | A        | A       |
| 学校関係者評価委員会の意見等 |  | ・工事期間中に災害があった時の危機管理体制を検討してほしい。 |   |          |         |

| 項目             | 評価項目                                   | 自己評価  |  | 学校関係者評価  |         |
|----------------|--|---|--|----------|---------|
|                |  | 達成状況  | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営        | 学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。   | A   | ・組織的な学校運営を充実させるために、研究の他に、特別支援教育、ICT教育の新たな分掌委員会を設けて校務を推進した。また、教職員一人一人が職務の厳正に努め、学校運営に寄与した。教科担任制による指導体制を更に充実させ学校運営を進める。   | A        | A       |
|                | 学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。 | A   | ・1月に学校独自の学力調査を継続して全学年実施し、学力の状況を調査した。生活アンケートやアイ・チェックによる調査を活用するとともに、スクールカウンセラー等と連携し児童理解を深めた。今後も適正にPDCAサイクルを進め、学校運営を行う。   | A        | A       |
|                | 学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。       | B   | ・すみだGIGAスクール構想に基づき、一人1台タブレット端末の活用を推進するために、ICT教育推進委員会が中心となり、環境整備を進めた。<br>・次年度以降の屋内運動場棟増改築工事に伴い、教育課程を適切に管理するための教育環境を整える。 | B        | B       |
| 学校関係者評価委員会の意見等 |  | ・屋内運動場棟増改築工事に伴い、児童の安全確保、行事や体育の学習の保障など、工夫して進めてほしい。 |  |          |         |

| 項目             | 評価項目   | 自己評価                      |  | 学校関係者評価  |         |
|----------------|--|---------------------------|--|----------|---------|
|                |  | 達成状況                      | 改善策  | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携        | 学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。 | B                         | ・学校ホームページを中心に学校の情報発信力が課題となった。よりよい情報提供ができるように更新の工夫をしていくとともに、紙媒体による手紙の配付を減らし、学校連絡メールシステム「COCO」による配信を推進し、家庭が学校の教育活動を把握できるようにする。 | B        | B       |
|                | 学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。                | B                         | ・運動会等の行事、学校図書館の運営、学習ボランティア（ぐんぐんのびる二葉タイム）、登下校など、多様な場面で地域、保護者、PTAの協力を得て教育活動を進めている。感染症予防の基本方針を踏まえて、一層の連携を進めていく。                 | B        | B       |
| 学校関係者評価委員会の意見等 |  | ・学校連絡メールシステムの活用を一層図ってほしい。 |  |          |         |

## 様式 4

### 2 令和4年度学校評価のまとめ

評価結果と屋内運動場棟増改築工事の予定を踏まえて、学校の教育目標実現のためにカリキュラムマネジメントを生かした計画を充実させ、令和5年度の教育課程を編成し実施していく。

更なる学力向上のために、次の取組を充実させる。

- ・教科担任制による指導体制の充実（東京都教科担任制等推進校3年次）を図る。

教科担任制や交換授業による教員の専門性向上、学習指導力向上  
時間割編成の工夫による安定した指導体制での実施

- ・「学びに向かう力を発揮する児童の育成」をテーマとした校内研究の充実を図る。

本校が定義する「学びに向かう力」の整理・検討  
非認知的能力の育成

- ・一人1台タブレット端末等のICT機器の一層の活用を図る学習指導の充実を図る。

個別最適な学び、協働的な学びへの効果的な活用  
情報モラル教育の充実

児童相互の望ましい人間関係を作ることやいじめ・不登校等の課題の解決を図るために、次の取組を充実させる。

- ・学年教員や教科担任制による副担任との連携を中心とした組織的な学年・学級経営を進め、多角的・多面的な児童理解を図る。

- ・「チーム学校」としてスクールカウンセラーや支援員等との連携を一層推進し、児童の自尊感情を高める取組を充実させる。

情報発信を工夫し、家庭や地域、関係諸機関との連携を一層強めて児童の心身ともに健やかな成長を目指す。

以上の通り報告いたします。

墨田区立二葉小学校 校長 山崎 隆 公印